

成田市水道事業運営審議会概要

1. 開催日時

平成22年7月30日（金） 午後3時～午後4時00分

2. 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟3階第3委員会室

3. 出席者

(委員)

高橋会長、鶴岡副会長、岩館委員、

金杉委員、香取委員、宮崎委員

(事務局)

遠藤水道部長、中村業務課長、稲阪工務課長、川嶋業務課主幹、萩原工務課主幹、

伊藤工務課副主幹、石橋業務課副主幹、長瀧業務課主査、藤崎業務課主査

4. 報告事項

(1) 平成21年度成田市水道事業報告について

(2) 平成21年度成田市簡易水道事業報告について

報告事項として、事務局より平成21年度水道事業報告及び簡易水道事業報告の概要について説明がおこなわれた。

その際に出された主な質疑は、次のとおり

Q 水道の収益で前年より減少の理由は。

A 大口利用者の専用水道への転換や水道利用者の節水効果により有収水量の増加にもかかわらず、水道料金の高い水が減少し、安い水が増加したためです。

Q 老朽管とは。

A 老朽管とは石綿管のことを言っております。

Q 老朽管の布設替状況は。

A 老朽管の布設替については、現在97%は終了しています。

Q 布設替の管は耐震管ですか。また、地震で壊れないか。

A 街中の中心部などに使用している耐震管は、新潟県中越地震等では壊れないと報告を受けております。

Q 水道管の図面は正確か。

A 現在布設の配水管は正確ですが、昔の管につきましては、不明なものもございます。

Q 簡易水道の給水戸数が増加し給水人口が減少した理由は。

A 大栄、下総地区共に全体の人口が減っているために、給水戸数の増加にもかかわらず給水人口が減少しています。

Q 簡易水道は黒字ですか赤字ですか。

A 簡易水道事業は政策として始めた事業です。不足分については一般会計より補助を受けています。

5. 傍聴

(1) 傍聴者

0人

6. 次回開催日時

未定